

大きくなったら何になる？

－内原保・テレビ撮影－

2月6日(金)、内原保育所(田村真由美所長)で(株)ZTVが放送するケーブルテレビ番組「大きくなったら何になる？」の撮影が行われました。

撮影では、年長園児ら31人が先生の演奏に合わせて「ありがとう」を合唱。そのあと、テレビカメラの前で自分の夢を発表しました。園児らは、テレビカメラを向けられると少し緊張した様子でしたが、自分の番になると「サッカー選手」「プロゴルファー」「ケーキ屋さん」などと元気よく発表。一番目に発表した石方開城君は「小学校の先生になりたいです。楽しく勉強ができるようにしたいです」と話していました。

ZTVでは、内原保育所のほか、志賀保育所・比井保育所でも撮影を行い、撮影した映像は番組「大きくなったら何になる？」で、下記の日程で放送される予定となっています。

放送期間	3月9日～15日
放送時間	午前9時、午後1時、 午後8時(15日は放送なし)、午後10時



クヌッセン機関長をしのんで －命日慰霊献花式－

2月10日(火)、日の岬パーク内クヌッセンの丘において、故クヌッセン機関長命日慰霊献花式が執り行われました。

この日の献花式には松本町長と森下・美浜町長のほか、白井・田杭区長や野田・日高町議会議員、富安県議も出席し、ク機関長の好きだったキンセンカの花を献花して遺徳をしのびました。

森下・美浜町長は挨拶で、昨年ク機関長の親族の方がクヌッセンの丘と救命艇保管庫を訪問されたことに触れ、「クヌッセン機関長が縁となり、グローバルな交流ができていることを嬉しく思います」と感謝を述べました。

式典のあと、田杭地区内の救命艇保管庫に移動した一同は、保管庫に隣接する供養碑の前にキンセンカを供え、手を合わせてク機関長の冥福を祈ったほか、デンマーク訪問団の写真や保管されている救命艇を、改めて見学しました。

避難所運営を疑似体験

— 避難所運営リーダー養成講座 —

1月25日(日)、中央公民館において、県主催の避難所運営リーダー養成講座が開講され、各地区の区長や自主防災会役員、町職員ら46人が避難所運営ゲーム(通称「HUG」)で、図上訓練を通して避難者の受け入れ対応等を学びました。

講座では、(株)エクスプラス災害研究所の伊永勉所長の講演「大規模災害時の避難所運営の状況」を聞いたあと、HUGに挑戦。HUGでは、避難所運営者となって、避難してくる住民をどのように受け入れるか、避難所で起こる様々な出来事にどう対応するかをゲーム形式で疑似体験します。

参加者は6班に分かれ、大規模な災害が発生したという想定のもと、避難所の平面図に避難者に見立てたカードを配置。高齢者や持病を持つ方、また外国人やペット連れといったあらゆる条件の避難者への対応を協議しました。

参加者からは「避難者や突発事項が書かれたカードがどんどん配られるので、じっくり考える余裕が無く大変でした」といった声が聞かれました。



廃乾電池を回収します

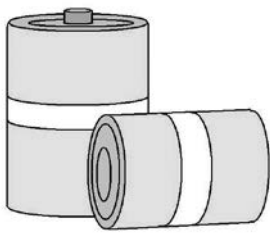
回収箱を設置しますので、回収袋から取り出して、廃乾電池のみを回収箱に入れてください。

以前のように回収袋に入れたままでは、出さないでください。回収袋は保管用としてご使用ください。

回収日：3月29日(日)

●場所：各地区の粗大ごみ

収集場所



住民福祉課
お知らせ

お問い合わせは、
(☎63・3800)まで。

野焼きは法律で 禁止されています

「近所でごみを燃やしている、煙で困っている」「ごみの焼却で灰や燃えかすが、田んぼに入っている」などの苦情が多く寄せられています。

家庭でのごみの焼却は、近隣の人に迷惑を掛けるだけでなく、ダイオキシン類発生や火災の危険など、さまざまな問題となつていきます。

ドラム缶・ブ
ロック囲い・素
ぼりの穴を利
用したものや、
法で定められた構造基準を満た
していない焼却炉などによる焼
却は、法律で禁止されています。



家庭ごみは焼却せずに、決められた収集日に分別して出してください。

農林漁業を営むためのやむを得ない焼却などは、法律で例外的に認められています。焼却量や時間帯、風向きなどを考慮しましょう。